

## 平成22年5月期 第3四半期決算短信

平成22年4月9日

上場取引所 東

上場会社名 サイバーステップ株式会社

コード番号 3810 URL <http://corp.cyberstep.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 類

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 類

四半期報告書提出予定日 平成22年4月13日

TEL 03-5465-1500

配当支払開始予定日

—

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年5月期第3四半期の連結業績(平成21年6月1日～平成22年2月28日)

## (1) 連結経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
22年5月期第3四半期	百万円 1,151	% 70.4	百万円 241	% —	百万円 234	% —	百万円 180	% —
21年5月期第3四半期	676	—	△447	—	△455	—	△535	—
1株当たり四半期純利益			潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
22年5月期第3四半期			円 銭 9,135.98					
21年5月期第3四半期			円 銭 △26,905.72					

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
22年5月期第3四半期	百万円 907		百万円 616		% 62.6		円 銭 28,763.44	
21年5月期	875		419		44.5		19,723.77	

(参考)自己資本 22年5月期第3四半期 568百万円 21年5月期 388百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
21年5月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 0.00
22年5月期	—	0.00	—	—	—	—
22年5月期 (予想)					0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年5月期の連結業績予想(平成21年6月1日～平成22年5月31日)

(表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円 1,600	% 38.4	百万円 189	% —	百万円 184	% —	百万円 89	% —	円 銭 4,489.16

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名) ) 除外 一社 (社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年5月期第3四半期 21,755株 21年5月期 21,755株  
② 期末自己株式数 22年5月期第3四半期 1,993株 21年5月期 2,033株  
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年5月期第3四半期 19,749株 21年5月期第3四半期 19,886株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要素により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。  
なお、連結業績予想については4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、一昨年来の世界的な金融危機の影響が強く残る中、金融・経済対策の効果や新興国市場の拡大を背景に緩やかに景気回復の兆しが見られるものの、雇用情勢の改善は見られず、個人消費も力強さを欠いた上デフレ状況が継続しており、依然として先行きが不透明な厳しい環境が続いております。

わが国のオンラインゲーム業界は、ユーザー数は伸びているものの、国内市場については成長の鈍化が見られる中、新規参入業者の増加もあいまって、競争は激化しております。一方海外各国におけるオンラインゲーム市場については、アジア圏において一部成熟感が見られるものの、ユーザー登録数の増加率が著しい中国に加え、欧米を中心として据え置き型ゲームが普及している国においても今後の市場拡大に期待がもたれております。

このような状況の中、当社グループは創業時から一貫して単独で国際競争力のあるオンラインゲームの開発を続け、日本国内はもとより海外各国の運営会社との協力関係を深めながら、日本を含め広く15カ国地域のユーザーの皆様に魅力あるゲームを楽しんでいただいております。

当第3四半期連結会計期間には、前連結会計年度において日本国内先行でサービスが開始された新規タイトル『コズミックブレイク』の正式サービスを台湾、香港、マカオで開始し、同じく『ゲットアンド2』の正式サービスをベトナムで開始いたしました。さらに、連結子会社CyberStep Communications, Inc.においては従来より運営しております2タイトル『SplashFighters』、『HolyBeast Online』に続く新たなゲームタイトル投入の準備をいたしました。

既存ゲームタイトルは主にアジア市場において売上の足踏み状態が続いているものの、日本国内において自社運営をしております既存、新規の各ゲームタイトルはユーザーの皆様から高い評価を頂いております。また、外部委託業者に対する新規発注や販促費の抑制等によるコスト削減を積極的に進め、グループ全体の経営の効率化、体质強化を図り、企業価値の価値の更なる向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間においては、ロイヤリティ等売上高は401百万円（前年同期比214.1%増）、自社運営売上高は189百万円（前年同期比8.8%増）、売上高合計で591百万円（前年同期比95.8%増）となりました。利益面につきましては売上高の増加と経費削減により、営業利益291百万円（前年同期は営業損失11百万円）、経常利益293百万円（前年同期は経常損失11百万円）、税金等調整前四半期純利益292百万円（前年同期は税金等調整前四半期純損失11百万円）となりました。

海外からのロイヤリティ収入及び入金ライセンス料にかかる外国税額について控除しきれない金額が発生し、法人税等を21百万円（前年同期比11.6%増）計上し、最終的に四半期純利益は270百万円（前年同期は四半期純損失31百万円）となりました。

当社グループはオンラインゲーム事業を営んでおり、当該事業以外に事業の種類がないため、事業の種類別セグメントの記載をしておりません。

また、本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメントの業績は記載を省略しております。

なお、平成22年5月期第1四半期及び第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成22年5月期第1四半期決算短信（平成21年10月9日開示）及び第2四半期決算短信（平成22年1月13日開示）をご参照ください。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ32百万円増加し、907百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加67百万円がある一方で、減価償却等による有形固定資産の減少17百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ164百万円減少し、291百万円となりました。これは主に、前受金の減少213百万円、長期借入金の増加41百万円（1年内返済予定の長期借入金を含む）によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ196百万円増加し、616百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加176百万円、新株予約権の増加17百万円によるものであります。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ27百万円増加し、477百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりです。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の営業活動におけるキャッシュ・フローは、主として税金等調整前四半期純利益234百万円の計上、減価償却費の計上23百万円、株式報酬費用の計上19百万円がある一方で、前受金の減少213百万円、法人税等の支払額49百万円により、33百万円の資金の増加（前第3四半期連結累計期間は350百万円の減少）となりました。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の投資活動におけるキャッシュ・フローは、主として定期預金の預入による支出40百万円により44百万円の資金の減少（前第3四半期連結累計期間は10百万円の増加）となりました。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の財務活動におけるキャッシュ・フローは、主として長期借入金の借入による収入50百万円、長期借入金の返済による支出8百万円により、41百万円の資金の増加（前第3四半期連結累計期間は102百万円の増加）となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月期（平成21年6月1日～平成22年5月31日）につきましては、日本国内における売上、及び海外各国によるロイヤリティ売上が年初計画を上回る水準で推移し、費用面においても新規採用の抑制、販売促進費等の削減を行っております。しかし、平成22年5月期第4四半期において、各国の新ゲームタイトルの正式サービス開始の遅れ、世界的な経済環境の悪化等の不確定要素が存在していることから、平成21年7月14日に公表しております通期連結業績予想に変更はありません。

#### 〔将来予想に関する事項と事業等のリスク〕

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。したがって、様々な要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

当社グループの業績を大幅に変動させる、あるいは、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクには、以下のようなものがあります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

新規ゲームタイトルがヒットしなかった場合のリスク、自社運営サービスが思うように進められなかつた場合のリスク、ユーザーの個人情報に関するリスク、システム障害に関するリスク、人材の確保に関するリスク

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

（固定資産の減価償却費の算定方法）

提出会社は有形固定資産の減価償却費の算定方法として定率法を採用しているため、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しています。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(4) 繼続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは前連結会計年度において、重要な営業損失、経常損失、当期純損失、重要なマイナスの営業キャッシュ・フローを計上し、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象（以下「重要事象等」という。）が発

生いたしました。

当第3四半期連結累計期間においては、経営計画達成のための諸施策の取り組み及び海外における正式サービス開始に伴うライセンス売上高計上等により営業利益、経常利益、四半期純利益を計上するとともに、営業キャッシュ・フローのマイナスを解消しております。しかしながら、現時点では事業年度を通じて経営状態が安定したと判断できる状況には至っておらず、継続企業の前提に関する重要事象等の存在を完全に払拭するには至っておりません。

当該状況を解消し、また改善するための対応策として、前連結会計年度より実施している新規採用の抑制、販売促進費の適正化、その他の費用の統制などの諸施策への取り組みを引き続き実施しつつ、効率的な事業活動を行い、かつ、当社グループ開発の新規オンラインゲームの各国・地域での立ち上げを着実に行いロイヤリティー等の収入を確保すると同時に、日本国内、北米における自社運営の収益力をさらに高めることにより、損益及び資金の状況は改善する見込となっております。

また、取引金融機関と良好な取引関係を継続し、前連結会計年度から引き続き財務基盤の安定を図ってまいります。

以上のように、当第3四半期連結累計期間においては継続企業の前提に関する重要事象等は存在しているものの、上記の既に実施している施策を含む効果的かつ実行可能な対応を行うことにより、継続企業の前提に関して重要な不確実性は認められないものと判断いたしております。

なお、文中の将来に関する事項は、現時点において当社が合理的であると判断したものであります。

5. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	578, 250	511, 119
売掛金	138, 717	136, 947
原材料及び貯蔵品	185	548
その他	18, 561	30, 327
<b>流動資産合計</b>	<b>735, 714</b>	<b>678, 943</b>
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	58, 963	76, 126
無形固定資産		
その他	8, 077	10, 799
<b>無形固定資産合計</b>	<b>8, 077</b>	<b>10, 799</b>
<b>投資その他の資産</b>		
保証金	96, 461	97, 311
その他	8, 631	11, 850
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>105, 093</b>	<b>109, 161</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>172, 134</b>	<b>196, 086</b>
<b>資産合計</b>	<b>907, 848</b>	<b>875, 030</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	2, 065	2, 779
短期借入金	60, 000	60, 000
1年内返済予定の長期借入金	15, 144	8, 004
未払法人税等	14, 416	9, 136
前受金	41, 231	254, 371
その他	51, 275	50, 298
<b>流動負債合計</b>	<b>184, 132</b>	<b>384, 590</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	105, 139	70, 662
その他	1, 857	—
<b>固定負債合計</b>	<b>106, 996</b>	<b>70, 662</b>
<b>負債合計</b>	<b>291, 128</b>	<b>455, 252</b>

(単位：千円)

前連結会計年度末に係る  
当第3四半期連結会計期間末  
(平成22年2月28日)

要約連結貸借対照表  
(平成21年5月31日)

純資産の部		
株主資本		
資本金	334,895	334,895
資本剰余金	324,895	324,895
利益剰余金	127,535	△49,364
自己株式	△215,579	△219,906
株主資本合計	571,745	390,519
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△3,322	△1,527
評価・換算差額等合計	△3,322	△1,527
新株予約権	48,296	30,785
純資産合計	616,719	419,777
負債純資産合計	907,848	875,030

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成21年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)
売上高	676,032	1,151,741
売上原価	178,050	299,940
売上総利益	497,982	851,801
販売費及び一般管理費	945,276	610,121
営業利益又は営業損失 (△)	△447,293	241,679
営業外収益		
受取利息	940	326
還付加算金	349	69
その他	311	45
営業外収益合計	1,602	442
営業外費用		
支払利息	251	2,577
為替差損	9,231	4,266
その他	772	901
営業外費用合計	10,255	7,744
経常利益又は経常損失 (△)	△455,946	234,376
特別利益		
新株予約権戻入益	—	2,280
特別利益合計	—	2,280
特別損失		
固定資産売却損	—	1,484
固定資産除却損	1,332	587
特別損失合計	1,332	2,072
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△457,279	234,585
法人税、住民税及び事業税	77,767	54,158
法人税等合計	77,767	54,158
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△535,047	180,426

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年2月28日)
売上高	301,902	591,148
売上原価	89,426	99,581
売上総利益	212,476	491,567
販売費及び一般管理費	224,209	200,314
営業利益又は営業損失 (△)	△11,732	291,253
営業外収益		
受取利息	340	142
為替差益	415	3,051
その他	—	39
営業外収益合計	756	3,233
営業外費用		
支払利息	251	1,042
新株予約権発行費	250	—
支払保証料	58	264
その他	146	44
営業外費用合計	706	1,350
経常利益又は経常損失 (△)	△11,682	293,135
特別損失		
固定資産除却損	55	499
特別損失合計	55	499
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△11,738	292,635
法人税、住民税及び事業税	19,594	21,857
法人税等合計	19,594	21,857
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△31,332	270,778

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成21年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△457,279	234,585
減価償却費	29,599	23,264
長期前払費用償却額	3,808	3,808
株式報酬費用	16,041	19,792
新株予約権戻入益	—	△2,280
受取利息	△940	△326
支払利息	251	2,577
為替差損益 (△は益)	9,165	2,324
固定資産売却損益 (△は益)	—	1,484
固定資産除却損	1,332	587
売上債権の増減額 (△は増加)	△41,860	△1,799
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△329	362
仕入債務の増減額 (△は減少)	△15,797	△666
前受金の増減額 (△は減少)	223,589	△213,140
未払費用の増減額 (△は減少)	△6,440	△4,898
その他の資産の増減額 (△は増加)	7,181	10,507
その他の負債の増減額 (△は減少)	△52,870	8,542
その他	369	—
小計	△284,179	84,726
利息及び配当金の受取額	895	314
利息の支払額	△403	△2,658
法人税等の支払額	△66,757	△49,037
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△350,444</b>	<b>33,344</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△40,000
定期預金の払戻による収入	50,000	—
有形固定資産の取得による支出	△37,814	△1,246
有形固定資産の売却による収入	—	713
無形固定資産の取得による支出	△2,062	—
その他	—	△3,618
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>10,123</b>	<b>△44,151</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	60,000	—
長期借入れによる収入	80,000	50,000
長期借入金の返済による支出	—	△8,383
自己株式の取得による支出	△37,087	—
ストックオプションの行使による収入	—	800
リース債務の返済による支出	—	△619
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>102,912</b>	<b>41,797</b>

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成21年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,391	△3,828
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△245,799	27,162
現金及び現金同等物の期首残高	630,265	450,512
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	22,894	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	407,359	477,674

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間（自平成20年12月1日 至平成21年2月28日）及び当第3四半期連結会計期間（自平成21年12月1日 至平成22年2月28日）並びに前第3四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成21年2月28日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成22年2月28日）

当社グループはオンラインゲーム事業を営んでおり、同一セグメントに属するゲームの開発、運営を行っています。当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間（自平成20年12月1日 至平成21年2月28日）及び当第3四半期連結会計期間（自平成21年12月1日 至平成22年2月28日）並びに前第3四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成21年2月28日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成22年2月28日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年6月1日 至平成21年2月28日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	409,620	1,768	411,389
II 連結売上高（千円）	—	—	676,032
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	60.6	0.3	60.9

当第3四半期連結累計期間（自平成21年6月1日 至平成22年2月28日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	644,038	15,900	659,939
II 連結売上高（千円）	—	—	1,151,741
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	55.9	1.4	57.3

（注） 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

（1） アジア…韓国、中国、台湾、タイ、ベトナム

（2） その他の地域…南米、北米、欧州

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。